

研究分野のキーワード：対照研究，個別研究，文学作品の翻訳及び紹介，教材開発

#### 研究紹介

私の研究は大体次の四つの分野に分類されます。①中国語と日本語の対照研究、②中国語の副詞の研究、③日本文学作品の中国語訳およびその作品の紹介、④日本における中国語教育の教材の開発です。

①では、これまで主として日本語と中国語における程度副詞の比較対照について継続的に研究してきました。日中両言語の対照研究や副詞の個別研究などについての論文をあわせて 34 篇発表してきました。これら両言語の対照研究についてこれまで発表した論文を再検討し、更なるその研究を集大成し、2000 年 10 月に学位論文として提出しました。そうして 2001 年 3 月 6 日付で東京都立大学大学院から論文博士〔文学〕の学位を授与されました。当該論文は 2009 年 5 月に風間書房で出版され、2010 年 8 月に第二回中日対照言語学賞（カシオ学術賞）著作賞、2010 年 9 月に公益信託田島毓堂語彙研究基金（田島毓堂賞）をそれぞれ受賞しました。

②では、中国語の程度副詞と量的語句との共起関係・程度副詞相互の共起関係・程度副詞の前置的修飾と後置的修飾の違い・程度副詞と形容詞の否定形式・程度副詞と動詞の否定形式・程度副詞と助詞「了」との共起関係などについての研究をしています。最近の成果として『中国語の程度表現の体系的研究』という研究書は 2011 年に出版されました。また、『中国語の量的修飾構造の研究』という研究書はまもなく都内の出版社で出版されます。

③では、これまで日本文学の中国語訳について研究してきました。芥川賞受賞作家の津村節子氏の『冬の虹』と直木賞受賞作家の立原正秋氏の『舞いの家』『残りの雪』『薔薇屋敷』『春の鐘』『血と砂』『狂いの花』『白い罌粟』『鎌倉夫人』『冬の旅』の 10 作品を翻訳し、中国語で出版しました。〈訳者の前書〉として付けた、これらの作品に対するそれぞれの解説文では、作者の人間像や作品のモチーフおよび描写方法などについて解説しています。今後はその他の日本の文芸賞の受賞作家の作品、特に新人作家の作品等を順次翻訳し、中国で出版したいと考えています。

私の母国語である中国語によって日本文学を紹介することは私の生涯の事業と考えています。それはまた、今後の日本文化の海外発信という面からも重要な意義を持つものと確信しています。

④では、これまでの教育経験を生かしながら、大学用のテキスト開発に取り組んでいます。2003 年 3 月 1 日に外国語科目用の教科書として、『新時代の中国語』を出版しました。当該教科書は幸いに好評を得て、現在複数の大学で採用されています。なお、目下中級テキストについて開発しており、日夜研鑽を積んでいます。